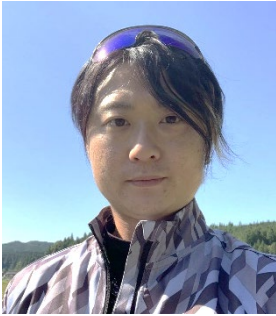


広島県立庄原実業高等学校卒業 渡邊 諒さん(東城菊組合)



渡邊 諒さんの紹介

平成5年生まれ 27歳
平成21年庄原市立小奴可中学校卒業
平成24年3月広島県立庄原実業高等学校生物生産学科卒業
平成26年広島県立農業技術大学校卒業
卒業一年後、新規就農者として菊の生産を開始
現在は輪菊を中心に1haを栽培中

○渡邊 諒さんの就農までの道

農業高校
(庄原実業高等学校)

県立農業技術大学校
(野菜・花きコース)

就農
(東城菊組合)

農業高校に入学しようと思ったキッカケは？

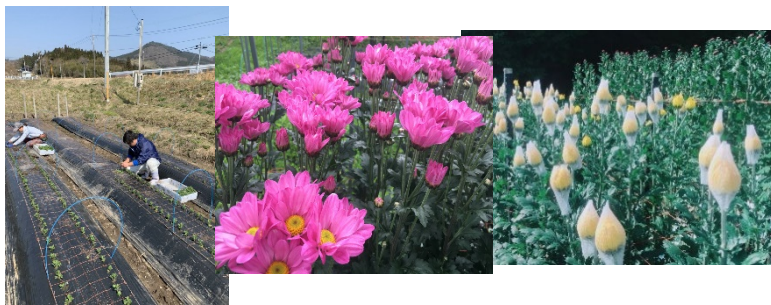
私の実家が農家だったこともあり、小さいころから農作業を手伝っていました。そのなかで、特に「菊作り」に興味を持ちました。そのため、農業科があり、園芸について学ぶことのできる、庄原実業高等学校に入学しました。

高校や大学校で学んだことは？

庄原実業高等学校では、生物生産学科で果樹や野菜、花の生産について多く学ぶことができました。また、生産に係る勉強のみではなく、農業簿記の授業もあり、就農後の経理に役立ちました。農業技術大学校では、野菜・花きコースを選択しました。花き生産の専門的な知識を学び、自分で決めた課題作物(菊)の生産を一年間通して経験することにより、「菊作り」への理解を深めることができました。さらに、先進農家、大規模農家の視察研修もあり、自分の農業感を広めることができました。

今の仕事の中でやりがいを感じることは？

現在、就農5年目です。これから規模拡大を視野に入れていきます。生産面積を2haまで拡大し、農作業員を雇用できるようにしたいと思っています。このように、これからのことを考えることがやりがいとなっています。



就農先の紹介

生産は7割が輪菊、3割は小菊などです。全て東城菊組合に出荷しており、出荷先は大阪市場です。収穫は7月上旬から11月上旬です。東城地域の冷涼な気候を利用して栽培をしています。